



2026年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES 上場取引所 東
コード番号 3563 URL <https://www.food-and-life.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山本 雅啓
問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 吉田 剛（TEL）06-6368-1001
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	390,421	24.7	42,022	43.9	40,489	47.5	28,272	46.7	26,578	47.1	31,795	60.5
2025年9月期第3四半期	313,149	18.3	29,205	68.4	27,453	67.5	19,269	76.5	18,072	74.3	19,816	57.1

	調整後EBITDA		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	％	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	56,177	38.7	117.09	115.68
2025年9月期第3四半期	40,502	47.8	79.87	78.86

（注）当社は、2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2026年9月期第3四半期	445,693	129,474	124,578	27.5
2025年9月期	398,596	100,902	97,869	24.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- 前連結会計年度の年間配当額は、下記株式分割が同年度期首に行われたと仮定すると、17.5円となります
- 当社は、2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2026年9月期の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後EBITDA		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	505,000	17.6	71,000	36.3	50,500	39.9	31,500	37.3	138.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

基本的1株当たり当期利益は、上述の株式分割後の株数を基準に算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期3Q	232,138,368株	2025年9月期	232,138,368株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	4,868,864株	2025年9月期	5,629,262株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期3Q	226,988,425株	2025年9月期3Q	226,269,084株

当社は、2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

(4) 各種指標の算式

指標	算式
調整後EBITDA	営業利益+減価償却費及び償却費(使用権資産の減価償却費を除く)+減損損失

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(販売費及び一般管理費)	12
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げ等に伴う個人消費の持ち直し等により、緩やかな経済活動の回復が見られました。一方で、世界的な政情不安や円安の長期化に伴う物価上昇の中、実質賃金の伸び悩みによる消費者の生活防衛意識の高まりから、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、コメをはじめとする原材料価格高騰や特定の国際航路での供給制約に伴うエネルギー価格等の高騰に加え、慢性的な人手不足等により引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、日々の食を美味しくすることで、お客さまの生活や人生までゆたかにしたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に取り組んで参りました。

また、業態別店舗数は以下のとおりであります。

[当社グループ業態別店舗数]

業態名	前連結会計年度末	出店実績	閉店実績	当第3四半期連結会計期間末
国内：スシローブランド (テイクアウト専門店)	667(8)	10	9(7)	668(1)
国内：杉玉ブランド(FC)	95(17)	10(7)	—	105(24)
国内：京樽ブランド	100(—)	2	16	86(—)
国内：回転寿司みさき・ 三崎丸ブランド	87(—)	—	2	85(—)
国内：その他ブランド	15(—)	—	6	9(—)
国内合計	964(25)	22(7)	33(7)	953(25)
海外：スシローブランド (テイクアウト専門店)	227(—)	78(1)	1	304(1)
海外：その他ブランド	7(—)	—	1	6(—)
海外合計	234(—)	78(1)	2	310(1)
国内外合計	1,198(25)	100(8)	35(7)	1,263(26)

() 内は内数でテイクアウト専門店・FCの店舗数

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益390,421百万円（前年同期比24.7%増）、営業利益42,022百万円（前年同期比43.9%増）、税引前四半期利益40,489百万円（前年同期比47.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益26,578百万円（前年同期比47.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(国内スシロー事業)

国内スシロー事業では、「すしに真っすぐ！」をテーマに、創業以来スシローがこだわり続けた美味しさにしっかりと向き合い、お客さまにご満足いただける商品の提供やキャンペーンの実施に取り組みました。

6月に創業月を迎えることから、お客さまへ年に一度の大きな感謝を込めて『感謝一杯。腹一杯。スシローの日2026』を開催いたしました。6月3日より第一弾として、ねっとりとしたいくら旨みを包みでダイレクトに味わえる「いくら包み」（税込110円〜）や、鮭にこだわるスシローが大きな感謝を込めて、店内で解凍し丁寧に1枚1枚切りつけるひと手間をかけた「特ネタ中とろ」を、通常の約2倍サイズにして、お値段そのままでご提供する「特ネタ倍とろ」（税込180円〜）などを販売いたしました。また、6月15日より第二弾として、とろサーモンを食べごたえのあるジャンボサイズで味わえる「ジャンボとろサーモン」（税込110円〜）やスシロー特製蒲焼きだれで焼き上げた「うなぎの蒲焼き」を、通常の約2倍サイズにした「倍切り！うなぎの蒲焼き」（税込180円〜）などを販売いたしました。

更に、創り込まれたストーリーと個性的なキャラクターで、日本だけでなく、世界中に多くのファンを持つスペースファンタジーRPG『崩壊：スターレイル』との2回目となるコラボレーション「黄金の一皿」を実施し、コラボ限定ピック付きのおすしやコラボ限定すし皿付きの商品を販売いたしました。スシローでおすしをお楽しみいただくことはもちろん、おすしと一緒に楽しめるコンテンツの提供も継続して実施いたしました。

以上の結果、国内スシロー事業の売上収益は216,932百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益は17,168百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

（海外スシロー事業）

海外スシロー事業では、過去最大級の出店ペースを維持し、着実に事業の拡大を進めております。中国大陸では4月に広州市の「スシロー番禺K11店」及び成都市の「スシロー凱徳天府店」をオープンし、中国大陸で100店舗を達成いたしました。また、紹興市、温州市など新たに5都市に初進出を果たしました。台湾では5月に「スシローTOGO站前店」をオープンし、台湾初のテイクアウト専門店を出店いたしました。

春季から夏季にかけては更なる来客数拡大を目指した戦略的な販促・マーケティング施策を展開いたしました。タイでは5周年の創業祭として、「大トロ」や「赤えび」など様々なメニューをお得に提供するキャンペーンを実施いたしました。台湾では「カードキャプターさくら」、香港では「ジョジョの奇妙な冒険」とのコラボを展開。タイでは「ポケモン」とのコラボを展開。特典としてモンスターボールやポケモンカードを配布するなど、スシローでのお食事を通してより高い体験価値の提供に努めました。

以上の結果、海外スシロー事業の売上収益は150,638百万円（前年同期比61.8%増）、セグメント利益は20,368百万円（前年同期比83.2%増）となりました。

（京樽事業）

京樽ブランドは、引き続きEC販売の強化・不採算店舗の整理を行い、収益性改善に努めました。季節を彩る商品をお楽しみいただけるキャンペーンを継続的に実施し、5月には「母の日限定の懷石弁当」を予約販売し、6月からは、うなぎを存分にご堪能いただける夏の期間限定商品「うなぎのわっぱ寿司」や「うなぎ錦ちらし」をお客さまにお楽しみいただきました。

みさきブランドにおいても旗艦店を基軸とした商品力・接客力の強化により、ブランド力の進化・業績向上に努めました。北海道産のネタをこだわりの赤シャリでご堪能いただける「みさきの北海道産フェア」や、全国のおいしいネタをお楽しみいただける「みさきうまいもの祭」を開催し、お客さまにご好評いただきました。

以上の結果、京樽事業の売上収益は16,429百万円（前年同期比8.1%減）、セグメント利益は441百万円（前年同期比137.9%増）となりました。

なお、当社は2026年8月7日開催の取締役会において、当セグメントに属する株式会社京樽の全株式を譲渡することを決議いたしました。本決議に伴い、第4四半期連結会計期間より京樽事業は非継続事業に分類する予定です。詳細につきましては、「（重要な後発事象）」をご参照ください。

（国内杉玉事業）

大衆寿司居酒屋「鮎・酒・肴 杉玉」は、FOOD & LIFE COMPANIESの強みを最大限に活かし、鮮度・味・見た目にこだわったおすしや、居酒屋ならではの一品料理、そしてお食事に最適なお酒を提供しております。ブランド創設9年目に入り、国内総店舗数は100店舗を超え、直営・フランチャイズの両輪で更なる店舗ネットワークの拡大に取り組んでおります。お客さまに木目を基調としたこだわりの内装と空間でのお食事を十分ご堪能いただけるような販促キャンペーンも継続的に実施しております。

5月の「ボトルキープ祭り」では人気のお酒をお値打ち価格で販売したほか、6月には初夏を彩る期間限定メニューとして「鰻と鰻」のフェアを展開しました。目玉の鰻は一度も蒸さずに火にかける「地焼き」を採用し、皮目はパリッと香ばしく、ふっくらとした身から脂の旨みがあふれ出す本格的な味わいを提供いたしました。さらに、この上質な鰻と旬の鰻を一度に味わえる「鰻と鰻が入った、至福セット」を多くの店舗でランチタイムにも販売し、お客さまにご好評をいただきました。

以上の結果、国内杉玉事業の売上収益は6,574百万円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は241百万円（前年同期比717.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ47,097百万円増加し、445,693百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ20,393百万円増加し、108,789百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が5,636百万円、その他の金融資産が8,409百万円増加したこと等によるものであります。

非流動資産は、前連結会計年度末に比べ26,704百万円増加し、336,904百万円となりました。これは主に、有形固定資産が24,900百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ18,525百万円増加し、316,219百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ12,194百万円増加し、97,050百万円となりました。これは主に、営業債務及びその他の債務が5,190百万円、リース負債が3,956百万円増加したこと等によるものであります。

非流動負債は、前連結会計年度末に比べ6,331百万円増加し、219,169百万円となりました。これは主に、リース負債が8,576百万円増加したこと等によるものであります。

資本合計は、前連結会計年度末に比べ28,572百万円増加し、129,474百万円となりました。これは主に、配当金の支払により3,964百万円減少した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により26,578百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5,636百万円増加し、64,458百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、62,249百万円（前年同期比37.8%増）となりました。

これは主に、税引前四半期利益40,489百万円、減価償却費及び償却費32,081百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、33,446百万円（前年同期比83.0%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が23,443百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、25,050百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

これは主に、リース負債の返済による支出が18,377百万円、配当金の支払額が3,958百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、海外スシロー事業を中心に業績が好調に推移したことを主因として各段階利益がいずれも想定を上回る着地となりました。こうした状況を踏まえ、2026年9月期の連結業績予想を上方修正することにいたしました。詳細については、本日（2026年8月7日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、本日公表の株式会社京樽の全株式譲渡に伴う影響については、通期連結業績予想の修正に織り込んでおります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	58,822	64,458
営業債権及びその他の債権	15,284	17,648
棚卸資産	10,242	13,143
その他の金融資産	690	9,100
その他の流動資産	3,357	4,440
流動資産合計	88,396	108,789
非流動資産		
有形固定資産	203,820	228,720
のれん	30,371	30,371
無形資産	57,002	56,816
持分法で会計処理されている投資	52	52
敷金及び保証金	15,795	17,243
その他の金融資産	801	773
繰延税金資産	1,664	1,676
その他の非流動資産	694	1,252
非流動資産合計	310,200	336,904
資産合計	398,596	445,693
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	42,091	47,282
社債及び借入金	4,009	4,009
未払法人所得税	4,926	7,242
リース負債	21,685	25,641
その他の金融負債	1,339	2,006
引当金	4,381	4,088
その他の流動負債	6,426	6,783
流動負債合計	84,857	97,050
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	22	7
社債及び借入金	76,519	73,470
リース負債	116,447	125,023
その他の金融負債	100	110
引当金	5,462	5,950
繰延税金負債	14,287	14,609
非流動負債合計	212,837	219,169
負債合計	297,694	316,219
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	15,806	15,601
利益剰余金	85,355	107,970
自己株式	△8,749	△7,567
その他の資本の構成要素	5,357	8,475
親会社の所有者に帰属する持分合計	97,869	124,578
非支配持分	3,032	4,896
資本合計	100,902	129,474
負債及び資本合計	398,596	445,693

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	313,149	390,421
売上原価	△134,019	△168,293
売上総利益	179,130	222,128
販売費及び一般管理費	△149,697	△180,620
その他の収益	541	1,135
その他の費用	△769	△621
営業利益	29,205	42,022
金融収益	176	857
金融費用	△1,928	△2,390
税引前四半期利益	27,453	40,489
法人所得税費用	△8,184	△12,217
四半期利益	19,269	28,272
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	18,072	26,578
非支配持分	1,197	1,693
四半期利益	19,269	28,272

1 株当たり四半期利益

基本的1株当たり四半期利益(円)	79.87	117.09
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	78.86	115.68

(注) 当社は、2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が実施されたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	19,269	28,272
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融 資産の公正価値の純変動	△2	—
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△2	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	549	3,523
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	549	3,523
税引後その他の包括利益	547	3,523
四半期包括利益	19,816	31,795
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	18,613	29,931
非支配持分	1,202	1,864
四半期包括利益	19,816	31,795

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2024年10月1日時点の残高	100	15,734	65,818	△9,156	4,073	76,568	1,269	77,837
四半期利益			18,072			18,072	1,197	19,269
その他の包括利益					541	541	5	547
四半期包括利益合計	—	—	18,072	—	541	18,613	1,202	19,816
自己株式の処分		30		222	△69	184		184
自己株式の取得				△1		△1		△1
新株予約権の失効		18			△18	—		—
株式に基づく報酬取引					385	385		385
配当金			△3,394			△3,394		△3,394
利益剰余金への振替			△6		6	—		—
連結子会社株式の取得による持分の増減		△17				△17	△20	△37
所有者との取引額合計	—	31	△3,399	222	304	△2,843	△20	△2,863
2025年6月30日時点の残高	100	15,766	80,490	△8,935	4,918	92,339	2,451	94,790

当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2025年10月1日時点の残高	100	15,806	85,355	△8,749	5,357	97,869	3,032	100,902
四半期利益			26,578			26,578	1,693	28,272
その他の包括利益					3,353	3,353	170	3,523
四半期包括利益合計	—	—	26,578	—	3,353	29,931	1,864	31,795
自己株式の処分		△471		1,182	△423	287		287
自己株式の取得				△0		△0		△0
新株予約権の失効		265			△265	—		—
株式に基づく報酬取引					454	454		454
配当金			△3,964			△3,964		△3,964
所有者との取引額合計	—	△206	△3,964	1,182	△235	△3,223	—	△3,223
2026年6月30日時点の残高	100	15,601	107,970	△7,567	8,475	124,578	4,896	129,474

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	27,453	40,489
減価償却費及び償却費	26,270	32,081
減損損失	561	275
金融収益	△176	△857
金融費用	1,928	2,390
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,503	△381
敷金及び保証金の家賃相殺額	197	—
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,668	△2,569
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,660	△2,739
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	5,326	4,223
その他	182	1,039
小計	54,908	73,953
利息及び配当金の受取額	138	228
利息の支払額	△1,924	△2,411
法人所得税の支払額	△7,957	△9,876
法人所得税の還付額	0	355
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,166	62,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,407	△23,443
有形固定資産の売却による収入	13	13
無形資産の取得による支出	△1,069	△851
定期預金の預入による支出	△2,323	△7,942
定期預金の払戻による収入	4,455	300
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△1,560	△1,632
その他	614	108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,277	△33,446
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△5,000	—
社債の発行による収入	4,974	—
長期借入金の返済による支出	△3,007	△3,007
リース負債の返済による支出	△16,142	△18,377
支払手数料の支払による支出	△13	△12
自己株式の取得による支出	△1	△0
新株予約権の行使による収入	184	287
配当金の支払額	△3,387	△3,958
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△37	—
その他	11	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,418	△25,050
現金及び現金同等物の増加額	4,471	3,753
現金及び現金同等物の期首残高	48,695	58,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	1,883
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,233	64,458

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主に事業別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントに含まれる主要ブランドは以下のとおりであります。

国内スシロー事業：国内で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

海外スシロー事業：海外で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

京樽事業：株式会社京樽が運営する全ブランド（主要ブランド「京樽」・「回転寿司みさき」・「海鮮三崎港」）

国内杉玉事業：株式会社FOOD & LIFE INNOVATIONS が運営する全ブランド(主要ブランド「杉玉」)

その他事業：スシロー未来型万博店及び商品在庫の外部販売

②報告セグメント売上収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スシ ロー事業	海外スシ ロー事業	京樽事業	国内杉玉事 業	その他事業			
売上収益								
外部収益	195,990	93,102	17,800	5,938	319	313,149	—	313,149
セグメント間収益	—	2	71	101	—	174	△174	—
計	195,990	93,105	17,871	6,038	319	313,323	△174	313,149
セグメント利益又は 損失（△は損失） (注) 1	15,271	11,116	185	29	△162	26,440	2,765	29,205
その他の項目								
減価償却費及び償 却費	13,202	10,300	1,285	661	5	25,453	817	26,270
減損損失	17	479	50	15	—	561	—	561

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額2,765百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スシ ロー事業	海外スシ ロー事業	京樽事業	国内杉玉事 業	その他事業			
売上収益								
外部収益	216,932	150,637	16,281	6,484	86	390,421	—	390,421
セグメント間収益	—	1	148	90	—	239	△239	—
計	216,932	150,638	16,429	6,574	86	390,659	△239	390,421
セグメント利益又は 損失（△は損失） (注) 1	17,168	20,368	441	241	△43	38,176	3,846	42,022
その他の項目								
減価償却費及び償 却費	14,465	14,753	1,222	745	3	31,188	894	32,081
減損損失	105	109	51	9	—	275	—	275

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額3,846百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
従業員給付費用	83,254	101,832
減価償却費及び償却費	26,207	32,013
水道光熱費	7,207	7,786
支払手数料	5,958	7,209
その他	27,071	31,779
合計	149,697	180,620

(1株当たり利益)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益(百万円)	18,072	26,578
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株式に係る四半期利益(百万円)	18,072	26,578
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株式に係る四半期利益(百万円)	18,072	26,578
基本的期中平均普通株式数(株)	226,269,084	226,988,425
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に用いられた普通株式増加数(株)	2,906,879	2,760,534
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	229,175,963	229,748,959
基本的1株当たり四半期利益(円)	79.87	117.09
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	78.86	115.68
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類 (普通株式166千株)	新株予約権1種類 (普通株式61千株)

(注)当社は、2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり親会社所有者帰属持分、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(重要な後発事象)

(株式会社京樽の全株式譲渡)

当社は、2026年8月7日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社京樽（以下、京樽）の全株式をSRSホールディングス株式会社に譲渡することを決議し、同日に株式譲渡契約を締結いたしました。

なお、株式譲渡実行日は2026年9月1日を予定しております。

本決議に伴い、第4四半期連結会計期間から、京樽事業を非継続事業に分類する予定です。

1. 株式譲渡の理由

当社は、テイクアウト寿司で高い知名度を有する「京樽」や、首都圏・関東圏を中心に展開する回転寿司「海鮮三崎港（現「回転寿司みさき」）」及び「すし三崎丸（現「すしみさき」）」を運営する京樽の全株式を、2021年4月1日付で株式会社吉野家ホールディングスから取得いたしました。

取得後は、スシロー事業で培ったノウハウを活用し、生産性の向上、赤シャリの改良、商品開発力の強化、積極的な販促活動・PR広告活動による認知度の向上、店舗リニューアルの実施等、総合的なリブランディングを推進し、京樽の企業価値向上に取り組んでまいりました。

テイクアウト寿司市場の事業環境が大きく変化する中、京樽にとっては、その変化に柔軟に合わせた戦略のアップデートと投資の実行が、さらなる成長への重要なステップとなっていました。

こうした状況の下、京樽の持続的な成長及び企業価値の更なる向上を実現するためには、同社の成長を一層推進できるパートナーへ譲渡することが最適であると判断しました。また、当社グループとして、国内外におけるスシロー事業へ経営資源を重点的に投下することが、グループ全体の中長期的な企業価値向上に資するものと判断し、今般、株式譲渡契約を締結しました。

2. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

譲渡前の所有株式数	202株（議決権所有割合：100%）
譲渡株式数	202株
譲渡価額	3,745百万円
譲渡後の所有株式数	0株（議決権所有割合：－%）

2026年8月7日時点の京樽の発行済株式数は201株ですが、京樽は当社を割当先とする第三者割当増資を予定しており、株式譲渡時の発行済株式数は202株となる見込みです。

3. 今後の見通し

本取引が2026年9月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2026年5月8日の取締役会の決議に基づき、2026年7月1日を効力発生日として、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行いました。

1. 株式分割について

(1) 株式分割の目的

投資家の皆さまが投資しやすい環境を整えるため、株式を分割することにより、一単位(100株)当たりの投資金額を引き下げ、株式の流動性向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2026年6月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

②分割により増加した株式数

株式分割前の発行済株式総数	116,069,184株
今回の分割により増加した株式数	116,069,184株
株式分割後の発行済株式総数	232,138,368株
株式分割後の発行可能株式総数	872,000,000株

③分割の日程

基準日公表日	2026年6月12日(金)
基準日	2026年6月30日(火)
効力発生日	2026年7月1日(水)

(3) その他

今回の株式分割に際して、資本金の額の増加はありません。

2. 株式分割に伴う定款の一部変更について

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2026年7月1日を効力発生日として、当社定款の一部変更をいたしました。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は次のとおりです。(下線は変更箇所)

変更前	変更後
(発行可能株式総数) 第7条 当社の発行可能株式総数は、 <u>436,000,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第7条 当社の発行可能株式総数は、 <u>872,000,000株</u> とする。

(3) 定款変更の日程

取締役会決議日	2026年5月8日(金)
効力発生日	2026年7月1日(水)